

1. 小学校教育コース教科教育専攻に「総合型選抜Ⅰ（地域教員希望枠）」を導入

■変更の概要

現在行われている「学校推薦型選抜Ⅱ」（募集人員20名）を廃止し、新たに「総合型選抜Ⅰ」（募集人員10名）を実施します。

この選抜は「地域教員希望枠」として行い、合格後は入学前から沖縄県の教員になるための学びを重ねていただきます。既卒1年目の者も出願可能とします。

■求める学生像

- 卒業後に沖縄県の学校教育において得意教科をもつ小学校教員として貢献したい人、または、沖縄県において教科を通じた小中学校の連携を図れる学校教員になりたい人
- 教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきたい人
- 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- 高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人
- 沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人

■選抜方法等

9月初旬に第1次選考として書類選考、9月下旬に第2次選考として「小論文及び面接」を実施します。第1報においては、出願書類及び面接を中心に実施することを想定していましたが、本選抜は、「地域教員希望枠」として、沖縄県の地域課題に対応できる質の高い教員を継続的・安定的に養成することを目的としていることから、第2次選考において小論文及び面接を組み合わせることとします。沖縄県の教育課題等についての論理的思考力、判断力及び表現力等を評価するとともに、沖縄県の教育に貢献したいという高い意欲と適性を重点的に評価します。

小論文の出題に関しては、アドミッション・ポリシーに基づいた「沖縄県の学校教育における課題等」に関する内容（提示される課題には動画の視聴、あるいは簡単な資料を用いることもある）を予定しています。

また、この選抜は全専修（全教科）一括で募集・実施し、出願時に所属を希望する専修（教科）を第2志望まで申請していただきます。

詳細は「令和8年度琉球大学入学者選抜要項」及び「令和8年度総合型選抜Ⅰ学生募集要項」で公表します。

2. 小学校教育コース教科教育専攻の「一般選抜(前期日程)」を 小学校教育・中学校教育両コース合同での専修別(教科別)の選抜に切り替え

■変更の概要

希望する教科の専修に直接出願することができる専修別（教科別）の選抜を実施します。

- 全専修（全教科）合わせた募集人員は67名（小学校教育コース35名／中学校教育コース32名）になります。小学校教育コース教科教育専攻の専修別（教科別）の選抜は中学校教育コース教科教育専攻と合同で実施します。
- コースの選択は出願時に行います。一方を第1志望、他方を第2志望として申請していただき、上位合格者から順に定員に合わせて割り振っていきます。

この変更により、入学後も両コースの学生が共に学ぶことで、小学校から中学校までの義務教育9年間を見通した教科の学びを育むことのできる小学校教員や中学校（または高校）教員を養成します。

■求める学生像

- 教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきいたい人
- 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- 高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人
- 沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人
- 基本的にすべての教科にかかわる小学校教員を目指すことから、いずれの教科に対しても学ぶ意欲をもっている人。その中でも、特定の教科に強みをもつことで、将来自信と誇りをもって学校現場に立てるようになりたいと考える人。

■選抜方法等の詳細

選抜方法等の詳細は琉球大学ホームページに掲載の「令和8（2026）年度琉球大学入学者選抜方法の変更について（予告）」をご覧ください。

3. 小学校教育コース教科教育専攻の「学校推薦型選抜Ⅱ」を廃止

■変更の概要

小学校教育コース教科教育専攻における1，2の変更に伴い、「学校推薦型選抜Ⅱ」を廃止します。

なぜこのような変更が必要なのか

■総合型選抜Ⅰ(地域教員希望枠)を実施する理由

沖縄県で学校教育に携わりたいと願う人が、卒業後に希望どおり沖縄県の教員となることを後押しするために実施します。

■一般選抜(前期日程)を小学校教育・中学校教育両コース合同での専修別(教科別)の選抜に切り替える理由

わが国の学校教育において現在『義務教育9年間を見通した』連続性のある学びと指導が求められています。特に小学校高学年において教科担任制の導入が進められています。

また、沖縄県公立学校教員候補者選考試験において小学校教員と中学校教員を併願できる制度が開始されたためです。